

高等技術学校に求められる役割と強み

【役割】
公共職業能力開発施設として、働く意欲のある方々に対し、産業界のニーズに沿った技術・技能の習得や、仕事をするうえで必要な資格を取得するための訓練を通じて、地域産業を担う人材を育成する。

【強み】
1. 技術・技能の習得に必要な機械や設備を備え、民間教育訓練機関では困難な訓練の実施
2. ものづくり分野の基礎的技術・技能を身につける訓練や県内企業と連携した実習等の実施
3. 訓練施設を活用した在職者訓練により企業等の在職者の技術向上を支援
4. 県内企業の求人ニーズに応じた多様な施設外訓練の実施

5年後(令和2年度まで)の目指すべき姿

【施設内訓練(普通課程)】
1. 入校選考応募率 120%
2. 自己都合による途中退校率 10%
3. 就職率 100%(うち関連就職率:95%)
【在職者訓練】
在職者訓練受講者数 850人(H28～R2の累計)
【委託訓練】
就職率 80%

目指すべき姿を達成するために

1 入校生確保のための施策

(1)訓練科目・カリキュラム
・必要とされる技能等に応じて、カリキュラムを常に見直していく必要がある。
(2)定員・応募資格
・現行の定員数の維持は必要であり、応募資格については他の都道府県の状況等を勘案しながら判断していく必要がある。
(3)入校生の確保
・就職に有利な資格の取得や高い就職率など高等技術学校の強みをアピールしていくことが重要である。

2 訓練実施体制及び訓練生支援体制

(1)訓練生への支援体制
・生活相談員や就職コーディネーターによる支援体制の強化を図る必要がある。
(2)訓練実施体制の充実
・女性用施設や寮の住環境の整備、訓練機器の導入・更新を実施する必要がある。
・企業ニーズに応じた質の高い訓練を実施するため、国や産業界などとの連携を強化するとともに、職業訓練指導員の資質・指導力の向上を図ることが必要不可欠である。

3 在職者及び離転職者への支援

(1)在職者訓練
・県内産業界へ魅力ある訓練を提供していくために、工業技術センターやポリテクセンター高知等と連携を行っていく必要がある。
(2)委託訓練
・早期の就職に結びつく訓練コース等が求められており、雇用吸収力のある職種の訓練を実施していく必要がある。

R1年度の主な取組

1 入校生確保のための施策

(1)訓練科目・カリキュラム (2)定員・応募資格
・令和2年度からの中村校訓練科の見直しを決定
①木造建築科の再編
②左官・タイル施工科の名称変更、訓練期間短縮
③年齢制限の引き上げ
④住宅リフォーム科の拡充
(3)入校生の確保
・専門職員、指導員による学校訪問(高知校 375回、中村校 129回)
・オープンキャンパスの実施(参加者数 高知校 52人、中村校17人)
・ものづくり総合技術展のイベント参加(来場者数 約580人)
・ポリテクフェスタのイベント参加
・広報媒体の追加(リーフレット形式、QRコードの導入)

2 訓練実施体制及び訓練生支援体制

(1)訓練生への支援体制
・生活相談員(高知校)の継続配置(週4日)
・就職コーディネーターの継続配置
(2)訓練実施体制の充実
・学科教室に空調を整備(高知校・中村校)(工事 36,308千円)
・浄化槽整備及びトイレ改修工事を実施(中村校)(工事 43,289千円)
・屋外津波避難タワーへつながる避難階段整備工事を実施(高知校)(工事 2,365千円)
・訓練用の機器の新規導入・更新(機器購入 22,574千円)
・各種研修等に指導員を派遣(14研修、15名)

3 在職者及び離転職者への支援

(1)在職者訓練(34コース)設定コース数

コース名	機械	溶接	塑性	電気	自動車	配管	木造
コース数	8	16	2	2	1	2	3

(2)委託訓練(55コース)実施コース数

コース名	IT事務系	経理系	介護系	医療事務系 その他
コース数	31	2	7	15

R1年度実績

【施設内訓練(普通課程)】
1. 入校選考応募率 60.0%
2. 自己都合による途中退校率 7.2%
3. 就職率 98.0%(うち関連就職率:89.6%)
【在職者訓練】
在職者訓練受講者数 268人(34コース)
※H28～R1の合計 915人
【委託訓練】
就職率 80.0%(※1月末までに終了した訓練における就職率を記載)

R2年度の主な取組

1 入校生確保のための施策

(1)訓練科目・カリキュラム (2)定員・応募資格
新・中村校木造建築科(普通課程2年、定員10名)を高卒コース(普通課程1年、定員10名)、中卒コース(普通課程2年、定員5名)へ再編
新・中村校左官・タイル施工科(普通課程2年、定員10名)を左官エクステリア科(短期課程1年、定員10名)へ移行
新・中村校住宅リフォーム科(短期課程6ヶ月(年2回)、定員10名)を短期課程10ヶ月、定員15名へ移行
(3)入校生の確保
新・高知暮らしフェアー(東京・大阪)にて、県外移住希望者に対して訓練生募集活動を予定(中村校)
新・県内のケーブルテレビ局に広報枠で訓練生募集依頼を予定(中村校)
・専門職員、指導員による学校訪問を継続実施(高知校、中村校)
・オープンキャンパスの継続実施(高知校、中村校)
・ものづくり総合技術展、ポリテクフェスタへのイベント参加(予定)

2 訓練実施体制及び訓練生支援体制

(1)訓練生への支援体制
拡・生活相談員を各校に配置(高知校 週4日、中村校 週1日)
新・職業訓練指導員の採用(中村校木造建築科 2名)
拡・職業訓練指導員の募集(高知校 自動車整備科 塑性加工科各1名)
・就職コーディネーターの継続配置
(2)訓練実施体制の充実
・パソコン教室を新設(中村校)(工事 9,152千円)
・訓練用機器の新規導入・更新(機器購入 23,503千円)
・各種研修等に指導員を派遣(14研修、16名)

3 在職者及び離転職者への支援

(1)在職者訓練(24コース)当初計画

コース名	機械	溶接	塑性	電気	自動車	配管	木造
コース数	0	14	2	2	1	2	3

(2)委託訓練(66コース)当初計画

コース名	IT事務系	経理系	介護系	医療事務系 その他
コース数	36	2	10	18